

中学校 第2学年 給食時間の学習指導案

1 題材名 「鯨について知ろう」

2 題材設定の理由

東彼杵町は、江戸時代から鯨組を作り、彼杵港に陸揚げした鯨を彼杵の商人達によって九州各地に送られていたことから鯨と縁の深い町である。昭和25年から彼杵鯨肉株式会社取扱いとなり、今も県内ではここだけで毎月1回入札会が開かれている。そこで地域と関係のある鯨料理を味わい、鯨について興味をもたせるためにこの題材を設定した。

3 本時の目標

鯨と東彼杵町とのつながりを知り、鯨の栄養について理解し、興味・関心を深める。

4 食育の視点

地域の産物に興味をもち、理解を深める。（食文化）

5 他教科との関連

社会科 「江戸時代の農業と諸産業の発達」「九州地方の人々の営み」

家庭科 「地域の食材と食文化」

6 本時の展開

過程	学習活動及び学習内容	指導上の留意点	資 料
食前	○今日の給食「鯨カレー」について知る。	○鯨の写真を見せ、今日の給食は鯨を使ったカレーであることを知らせる。	鯨の写真
食事中	○給食を味わいながら食べる。	○味わって食べるよう促す。	
食後	○鯨カレーの感想を発表する。 鯨について知ろう ○鯨の種類や特徴を知る。 ○地域の食文化に対する理解を深める。	○鯨カレーの感想を発表させる。 ○鯨の種類や特徴を知らせる。 ・ミンククジラについて ・部位の名称 ・赤肉に含まれる栄養素 ・調理法 ○他の鯨料理を紹介し、地域の食文化に対する理解を深めさせる。	ランチニュース 模型 写真

7 指導のつながり

- ・食育だよりで学校給食週間中の献立を紹介し、地域の食材について関心をもってもらえるように家庭への啓発をはかる。